

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	警防救急担当課長	中嶋 健史
消防－07 消火栓管理事業		■ 自治事務	主管課	警防救急課
		□ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	消防水利
意図	火災等に対応するための水利確保を行うため。
効果	市民を火災等から守る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

水道事業者が行う配水管の新設及び交換等に併せて適地を選定し、消火栓を新設する。水道法の規定に基づき、消火栓の維持管理に要する経費を支出する。

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算	備考
	人 口	177,243人	人 口	177,464人	
	世 帯 数	80,676世帯	世 帯 数	80,368世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	5,926	決算値(千円)	4,051	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	5,926	一般財源	4,051	
	人員配置数	1.0	人員配置数	1.0	
事業経費運営	人件費(千円)	7,797	人件費(千円)	7,668	
	総事業費(千円)	13,723	総事業費(千円)	11,719	
	市民1人当りの経費(円)	77	市民1人当りの経費(円)	66	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	定期的に点検を実施し、維持管理に努める。				
課題解決のために行った平成26年度の取組	水道営業所と連携し維持管理に努めた。				■ 解決 □ 一部解決 □ 未解決
未解決の課題 新たな課題	消火栓の設置及び管理等に関する協定書に基づき点検、修理を実施している。水道管の耐震性について水道営業所と連携し耐震化率の向上に努める。				
効 率 性	事業費に削減余地はないか		2. ない		
	関連・類似事業との統合はできないか		3. 統合できない		
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか		3. 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか		3. 廃止・休止による影響は大きくある		
有 効 性	事業の成果は得られているか		9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか		3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない		
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない		
			協働実施済の場合のパートナー		
事業内容の方向性	☐ a:事業内容を見直す ⇒	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	見直しの内容		
	☒ b:事業内容は現状通りとする				
	☐ c:事業を休止又は廃止する				
	☐ d:他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒			事業へ統合	
予算規模の方向性	☐ A:予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	水道事業者が行う配水管の新設及び交換等に併せ、付近の水利状況を精査し適地があれば設置の有無を検討する。水道法の規定に基づき、消火栓の維持管理に要する経費を支出する。		
	☒ B:予算規模は現状維持とする				
	☐ C:予算規模を縮小する				
総評	消火栓等について、適地を選定し必要があれば新設。また、今後も水道事業者と連携し水道配水管の耐震性の推進を図る。				

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		消火栓維持管理における達成率					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
有事の際、円滑に使用できるよう 適正な管理をするもの。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値	100.0									
	達成率	100.0%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方		消火栓の維持管理と新たな適地への新設									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---